

令和元年度第5回定例
松本市教育委員会会議録

松本市教育委員会

令和元年度第5回定例松本市教育委員会会議録

令和元年度第5回定例松本市教育委員会が令和元年8月29日午後3時00分本郷公民館に招集された。

令和元年8月29日（木）

議 事 日 程

令和元年8月29日午後3時00分開議

第1 開 会

第2 教育長挨拶

第3 議 事

[議案]

第1号 松本市いじめ問題対策調査委員会委員の委嘱について

[報告]

第1号 松本市教育文化センター運営委員会委員の委嘱について

第2号 令和元年度松本市小学校・中学校電子メディア機器等に関するアンケートの調査結果（速報）について

第3号 JAXA・国立天文台見学ツアーの開催結果及び野辺山宇宙電波観測所見学ツアーの実施について

第4号 国宝松本城天守耐震対策専門委員会委員等の委嘱について

[周知]

1 第8回学都松本フォーラムの開催について

2 UVレジンを使用した科学教室の実施について

3 第1回松本若者会議の開催について

4 松本市南部図書館の臨時休館について

5 松本城三の丸跡大名町第3次発掘調査現地説明会（中間報告）の開催について

6 美術館企画展「日本画の冒険者たち」の開催について

7 松本市立博物館及び分館の企画展等の開催について

[その他]

〔出席委員〕

教 育 長	赤 羽 郁 夫
教育長職務代理者	市 川 莊 一
教 育 委 員	福 島 智 子
〃	山 田 幸 江
〃	橋 本 要 人

〔出席職員〕

教 育 政 策 課 長	小 林 伸 一
教育文化センター課長補佐	倉 田 和 昭 (所長代理)
教育文化センター指導主事	小 川 文 徳
学校教育課課長補佐	倉 科 健 一 (課長代理)
学 校 指 導 課 長	高 野 毅
学 校 給 食 課 長	清 澤 秀 幸
生涯学習課長 兼 中央公民館長	栗 田 正 和
生涯学習課 施設整備担当課長	丸 山 丈 晴
中 央 図 書 館 長	瀧 澤 裕 子
文 化 財 課 長	大 竹 永 明
松本城管理事務所長	手 島 学
松本城管理事務所 城郭整備担当課長	原 文 彦
美 術 館 副 館 長	小 口 一 夫
博 物 館 長	木 下 守
基幹博物館建設担当課長	中 原 和 彦

〔事務局〕

教育政策課	
教育政策担当係長	金 井 稔
教育政策担当係長	三 村 恵 美

《開会宣言》 午後3時00分

赤羽教育長は令和元年度第5回定例松本市教育委員会の開会を宣言した。

教育長 今回は移動教育委員会ということで本郷地区での開催となります。また、夜には本郷地区の皆さんと語る会も開催されます。本郷地区の皆さんには大変お世話になりますが、よろしくお願いいたします。

さて、市内の小中学校においては全ての学校で2学期が始まりました。子どもたちにとっては、幸い大きなけがや事故も無く、楽しい夏休みが送れたと受けとめています。

昨日、たまたま山辺の中間教室に顔を出したら、そこに来ていた小学生が、私の顔を見るなり、「北海道へ家族で旅行に行ってきた」と。「網走の監獄のところで写真を撮ってきたの」と言ったら、「撮ってきた」と。それから「日本で一番北のところへも行ってきた」と話をしてくれました。ふだんは話しかけてもなかなか話をしてくれない子なのですが、とてもうれしそうにたくさん話をしてくれました。写真もたくさん撮ってきたと言うので、「今度来るときにはその写真で旅行記みたいにまとめておいてくれるとうれしいな」と言って帰ってきました。

また、今年は例年より多く中学生が全国の中学校体育大会に松本から陸上、卓球、柔道、それぞれの種目に出場して、それぞれ精いっぱい活躍してくれたと新聞等を見て、本当によく頑張ったなと思います。

2学期は運動会、音楽会、文化祭等行事がたくさんあるわけですが、仲間とともに励まし合って、体も心も一段とたくましく成長してくれることを願っています。

それでは、今日の3分間スピーチは高野学校指導課長です。よろしくお願いいたします。

学校指導課長 「心に残ることばについて」3分間スピーチ。

教育長 ありがとうございました。次回は逸見学校教育課長にお願いいたします。

《会議録の承認》

教育長 令和元年度の第3回の定例教育委員会の会議録についてはよろしいでしょうか。

全教育委員 結構です。

《署名員の指名》

教育長 本日の会議録署名委員は山田委員、橋本委員です。

《議案審議》

教育長 本日の案件は議案が1件、報告事項4件、周知事項が7件です。

<議案第1号> 松本市いじめ問題対策調査委員会委員の委嘱について

学校指導課長 議案第1号「松本市いじめ問題対策調査委員会委員の委嘱について」説明

教育長 それでは、ご質問、ご意見等ございましたらお出しください。

特にご発言が無いようですので、議案第1号については承認することとします。

<報告第1号> 松本市教育文化センター運営委員会委員の委嘱について

教育文化センター課長補佐 報告第1号「松本市教育文化センター運営委員会委員の委嘱について」説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。はい、橋本委員。

橋本委員 一つだけ質問ですが、社会教育関係者の代表の中で、北斗の会代表とありますが、北斗の会とは何ですか。

教育文化センター課長補佐 北斗の会ですが、主に天体観測の活動をされている団体ということで、今回はお願いをするものでございます。

橋本委員 ありがとうございます。

教育長 他にございますか。それでは、他にご質問、ご意見等無いようですので、報告第1号についても承認することとします

<報告第2号> 令和元年度松本市小学校・中学校電子メディア機器等に関するアンケートの調査結果（速報）について

教育文化センター指導主事 報告第2号「令和元年度松本市小学校・中学校電子メディア機器等に関するアンケートの調査結果（速報）について」説明

教育長 この件については、あとの地区の皆さんと語る会のところでも扱うようにな

りますが、ご質問、ご意見等ありましたらお出してください。市川委員。

市川委員　　子どものアンケートと一緒に、できれば親のアンケートもできないかと思
います。子どもにゲームをするなど言いながら、どこに行っても親が見ていて、
親が見ている時間もすごく多いと感じているものですから。

教育文化センター指導主事　ありがとうございます。

教育長　　他にありますでしょうか。福島委員。

福島委員　　9ページのアンケート結果の要約で、最初の項目ですが、所持率は全国に比
べて低いですが、共有が36%ということで、それが高いと書いてあるのですが、
全国調査で共有という項目は、前は無く、松本独自ということだったと思う
のですが、何と比べて高いということでしょうか。

教育文化センター指導主事　済みません、すぐに出てこないのですが、総務省が出した結果との
比較になるのですが、もしかすると項目が微妙に違うかもしれません。総務省
は単独所持率を出していたと思うので、単独所持率は全国平均のほうが高いと
認識しています。

福島委員　　共有に関しては、比較するものが無いということですか。

もう一点なのですが、前回、こういったアンケートをして、どのぐらい使っ
ているのかとか、どのぐらい所持しているのかという全体像を把握されたと思
うのですが、今回、もう少し具体的に、視力等で問題が出ているのかどうかと
か、表面的な実態は去年の段階で大体つかんでいたと思うのですが、そのさら
に一步先というか、そういうことは、今回の調査では行われているのでしょ
うか。それと、今後、予定はあるのでしょうか。

教育文化センター指導主事　保健、養護教諭の先生方と視力等の考察はしようという話はしてい
るのですが、現段階ではそこまで見ていけないことは確かです。ただ、視
力が落ちてきているというようなデータをいただいたり、今後の課題として、
見ていかななくてはいけないかなと思っています。おっしゃるとおり、一番危機
感を持っているところなので、視力の関係、あとは所持率、使用時間の関係、
依存等にも関わってくるかと思うのですが、しっかり見ていかななくてはいけ
ないかなというところで、今後の課題かなとは思っております。気にはしてい
るところでございます。

福島委員　　ありがとうございます。

教育長 健康被害に関するアンケートもやっていますよね。

教育文化センター指導主事 項目の中には後ろのほうにはあります。

教育長 ありますよね。ですから、今回のこの報告では速報ということで、報告いただいた項目ですが、今後、健康被害に関する考察等もするということですね。

教育文化センター指導主事 一応これでまとまると思いますが、健康被害についての考え方を、何らかのリアクションはしていこうと思っています。

教育長 昨年度からの総合教育会議等でも、市長等も一緒に懇談をしながら、健康被害という視点からもこのスマホの所持、利用ということもきちんと課題意識を持って取り組んでいかないといけないというようなことです。

それから、7月末に松本市で行われた内閣府の「青少年インターネット利用環境づくりフォーラムイン長野」という会議でも、そのようなことも話題になっていましたので、ぜひそのような視点も私たちも関心の高いところですし、保護者への啓発等についても説得力のある考察になっていくと思いますので、その辺もまとめて報告をいただければと思います。よろしく願いいたします。

他にありますでしょうか。山田委員。

山田委員 今回の福島委員に追加で、先ほどの市川委員の付け加えですが、健康被害で、視力がどのくらい落ちているとか、睡眠時間がどういう状況なのかということも知りたいなと思うのですが、例えば、睡眠時間の場合は子どもではなくて保護者が、子どもがどのくらい寝ているとか、何時までやっているかということが大事なのかなと思うので、大変だと思いますが、ぜひその辺のアンケートもこれからやっていただきたいというのが一つと、スマホと出てくるのですが、私が関わっている子どもは流行りのスイッチをずっと何時間もやり続けている子がいるので、ゲーム機に関してはどうなのかということも、もし分かれば知りたいなと思います。

教育文化センター指導主事 子どもたちがネットを見ているのは、小学生はゲーム機が一番多いです。おっしゃるとおり、確かにスイッチで見えています。スイッチでいろいろなことができちゃいますし、音楽プレーヤーでラインができちゃったりします。

教育長 ざわつきが出ていますが、スイッチというのが、よく分からないのですが、説明をしていただけますか。

教育文化センター指導主事 任天堂が出しているゲーム機で、本体があつて、カチャッと差すと、画面でもできますし、大きいテレビでもできるのですが、今、小さなものだけでもできたりしますので、いわゆる昔のファミコンのポケット版、テレビにも映せるものがスイッチと言います。

教育長 他にありますか。橋本委員。

橋本委員 質問が二つです。今日の新聞に4市町村合計の話が出ていて、確認ですが、悉皆調査をやっているのは、長野県だけですか。

教育文化センター指導主事 なかなか無いという話は聞いているのですが、しっかり調べたことは無いです。

橋本委員 新聞にそのように書いてありますが、確認を取っていただけませんか。

教育文化センター指導主事 分かりました。

橋本委員 それでいいとか悪いとか言うつもりはないのですが、せっかく長野県で悉皆調査をやっていることが珍しい事例だと新聞には書いてあつて、非常に重要な調査だという意味合いだと思うのですが、その位置づけをしっかりとしておく必要があるという事実確認です。

二番目に、こういうことを議論するのはいいのですが、私は事実関係を知らないで、現在学校現場でスマホの取扱いというのは、どういうルールになっているのかということを知りたいのですが。

学校指導課長 基本的には学校には持ち込まないということで、ふだんの学校生活には持ち込まないというのがルールになっております。

橋本委員 学校に持ってきては、だめだということですか。

学校指導課長 そういうことです。

教育長 大阪の地震の関係で国は持込みも検討するというようなことですが、学校現場としては、預かった物をどうするかとか、預かり場所の問題ですとか、課題が多くて、なかなかそれは学校にとってはハードルが高いということですね。

橋本委員 その点一ついいですか。スマホ等をはじめとした負の部分が強調されているのですが、例えば、学校に通う途上の位置確認ができるとか、緊急時の連絡とか、プラスの面もありますよね。そういうことを踏まえて、学校現場としての取扱いを議論する場はあるのですか。

学校指導課長 全体としてはそういう場は無いです。私の知っている範囲では、各学校にお

いては持参を求める保護者もいらっしゃいますので、今のところでは、校内のレベルで扱いをどうするかというような内容の話合いは行われてはおりますが、全体としては行われていないです。

橋本委員 分かりました。

教育長 特別な理由として、登校してきたところから別のところへ帰るといふ子どももいたりしますので、そういう子の親が緊急時の連絡方法ですとか、どうしてもスマホというより携帯を持たせて連絡を取りたいというような個別事情のある方については、学校ごとに相談に応じて、学校で預かって、下校時にまた返すというような形で対応しています。それから、病気ですとか、いろいろな個別事情には対応できるようにはしていますが、全体でルールを作るというようなことはまだ取り組んでいないという状況です。

橋本委員 分かりました。

教育長 福島委員、どうぞ。

福島委員 10ページの⑧スマホにどのくらい夢中になっているかというところで、②のやめられないと答えた子が、小学校で4%、中学校で5%ということですが、ゲームにしても、こういった機器に依存しているヘビーユーザーのところをどのようにアプローチしていくかということが、今後すごく大事になると思うのですが、4%、5%という数なので、400人とか200人という単位にいるということを見ると、依存の程度がどのくらいなのか、また、本人を含め周り等がそれによってどのくらい日常生活に支障をきたしているかというようなところを含めて今後対策を検討していただけるとありがたいです。以上です。

教育長 アンケートの考察にもあるように、ゲームの時間は睡眠と学習を削ってやっているという傾向が出てきているので、健康と学力という両面から子どもたちにはマイナスの面が表れてきているのかなと。その辺についてはこれから真剣に考えていかななくてはいけない部分かなということを思っていますが、なかなか具体的な手だてというのはこれからは難しいのかなと。見えにくい部分というのが、非常に難しいのかなと思っておりますが、ぜひ、その点も考察等で、今後の方向等も、もしお考えがあるようでしたら報告の中に入れて、また報告をしていただければと思います。

橋本委員 関連でいいですか。

教育長 橋本委員、どうぞ。

橋本委員 私が本で読む限りは、今出たような意見の他に、ゲームや機器とのコミュニケーションが中心になるので、対人関係における表情の変化とか、相手とのやりとりとか、いわば社会性を形成するような部分が極端に落ちてしまっているという議論もあるわけですね。そういう意味では、スマホ依存症のようなものが、どのような結果をもたらすのかということ専門家の先生等を含めて親御さん方にも啓発をしていく機会を教育として設けていく必要があるという問題意識が必要だと思います。

教育長 こども部は保育園等向け、教育委員会でも小中学生向けの啓発の資料を去年1回ずつ出していますので、また新たなものを付け加えながら、継続的な啓発をきちんとやっていく必要があります。せっかく調査をやっているのに、啓発をしっかりとやっていくということも非常に大事なことです。また啓発資料等については新しい知見等も入れながらやっていくということと、今、橋本委員がおっしゃったように、コミュニケーション不足と言いますか、この頃会社へ勤めた新入社員が電話も取れない人が多いと、取っても何と話をしているかよく分からないと、そういう人が増えているという話を聞いたことがあります。ゲームとただつきあっていると話をしなくても済むので、対人関係でのコミュニケーションのスキルが落ちてきていると。

市川委員の会社では、スマホを持たない日というのをやっていますね。

市川委員 使わない日を作ったりしていますが、教育長のおっしゃるように、機械の声ばかり聞いているせいではないかなと思いますよね。言葉ではない、機械が作る言葉を聞いて、目を見て話したことが無いので。会社に入って、電話の取り方から全部教えることになってしまう。

橋本委員 私は大学で講義をやっていますが、大学の講義であきれ果ててしまったことは何かというと、パワーポイントや黒板を写真を撮って安心してしまふ。要するに全くメモを取らないわけです。試験のときに、教科書も何も全部持ち込んでいいと言ったのですが、電子機器はだめだと禁止しました。もし持ち込むのであれば紙ベースにと言ったら、スマホの写真を紙ベースにしてきたわけです。これは禁止の仕方が不十分であったと反省をしています。書かないと覚えないですね。世の中全体が既にそういうところにまで来ているということは、

由々しき事態と言わざるを得ないかもしれません。

教育長 学校というのは集団社会なので、集団というのはお互いのいろいろな人の表情や目を見ながら視線を結びながら、この人はこういう人かな、この人はこういう人かなといろいろな思いを持ちながらコミュニケーションのスキルをどんどん増やしていくところで、なぜ学校があるのかという意味の一つにも、集団の中で何を学んでいくかということもあると思いますので、今回の報告はまだ表面的な部分での報告を速報ということといただいたので、ぜひ今日議論になったようなことも含めながら、また続報というような形で報告をいただければありがたいと思います。よろしく願いいたします。他にはよろしいでしょうか。

それでは、報告第2号については承認することとします

<報告第3号> JAXA・国立天文台見学ツアーの開催結果及び野辺山宇宙電波観測所見学ツアーの実施について

教育文化センター課長補佐 報告第3号「JAXA・国立天文台見学ツアーの開催結果及び野辺山宇宙電波観測所見学ツアーの実施について」説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。福島委員。

福島委員 いくつかあるのですが、抽選をして、既に行ったことがある人は再度応募してもだめということになっているのですか。

教育長 そうです。

福島委員 今回、野辺山を設定したということですが、そもそも8月9日で申し込んでいて、野辺山が9月16日と違うので、落選した人たちというのは、8月9日に予定をしていて、日程的に難しいのかなと。79名の応募者ということですが、今後これを引き続きやっていくのかということも含めてですが、落選した人を対象にというこの事業が、もちろん行った後の感想等を含めてということだと思のですが、この79名の応募者ということについてやってよかったという総括なのかどうかということをお聞きしたいのと、こちらの野辺山のほうに行く30名に選ばれると、今度は国立天文台には行けないのでしょうか。

教育文化センター課長補佐 まず、国立天文台のほうに申し込んでいただいて抽選をして落選をされた方について、急遽ですが、野辺山ということで計画をしましたがいかがですかということで、今年は実施をしました。JAXAのほうがやはり人気

高いので、来年度の実施については同じ方法でやるのかどうかというのは、現在検討中でございます。確かにより多くの方にJAXAの国立天文台のほうに行っていただきたいという思いはありますので、今後の課題として捉えてはおりますので、来年度の実施については、この野辺山についても今後検討ということで考えております。

福島委員 もう一点ですが、国立天文台に行くときの参加料と野辺山に行くときの参加料がそれほど変わらないですね。そもそもの国立天文台見学ツアーに割いている予算と、今回企画していただいた野辺山と、それぞれどの程度で考えていらっしゃるのかということをお教えいただきたいです。

教育文化センター課長補佐 JAXAのほうですが、元々こちらのほうは予算の確保をしております、旅行会社のバスを借りて実施をしております。野辺山のほうですが、日程的にたまたま市のバスが空いている日がありましたので、それで計画をしたということもございまして、予算は無いので、実費相当額を今回はお願いしたいということで、大人の方600円、小中学生を480円という料金を設定させていただきました。来年以降は、そこも含めて今後課題として検討しているところでございます。

教育長 他にございますか。橋本委員。

橋本委員 JAXA国立天文台に限らず、夏休みの行事として子どもたちに感動を与えるプログラムというのは非常に重要だと思います。要するに感動をどのくらい体験したのかということが、子どもたちが育つ人格形成段階で非常に大きな意味を持つと思うのです。そういう意味では、予算の制約があるのは十分承知ですが、このような機会をJAXAに限らず何か感動を与えるようなプログラムというものをいくつか組んでいただければと思います。予算の制約もあるところについては、ケースによってはある程度負担もお願いしつつ、そういう機会を多く作るということは、私は非常に重要なことかなと思います。

それに関連してもう一ついいですか。

教育長 どうぞ。

橋本委員 今年、小学校が予定していた美ヶ原登山にクマが出たという情報で、学校が困って、教育委員会にお伺いを立てたら中止命令が出たと聞きました。案内する人々に何うと、元々クマが住んでいるところなのだからクマが出るのは当た

り前で、逆に多くで行くとクマのほうは逃げてしまうので、ほとんど危険性は無いとおっしゃっていました。しかし、教育委員会にお伺いを立てるとリスクは避けるべきだからどうしても中止命令が出るともおっしゃっていました。そのときにしか行けない子どもたちもたくさんいるにもかかわらず、危険度の認識について不十分なまま中止命令が出たのは遺憾であると、私がお叱りを受けました。もちろん組織として決定するときには、どうしてもリスクがある場合、危険を冒すことができないということもあるかと思うのですが、一方でそういう機会を通じて感動を与えるプログラムというのは、私は非常に重要だと思いますので、ぜひこの場でもう一度その点はよく議論していただけたらなと思います。

学校指導課長 美ヶ原登山で、クマ出没により登山中止命令が出たということですが、学校指導課としては中止命令等は出してはおりません。

橋本委員 事実関係はそうですか。

教育長 最終的には学校長の判断です。三城から登らないで、直接バスで上まで行って少し歩くというやり方をして切り替えている学校もあります。

このクマの出没問題とは別の話ですが、野生動物の出没が非常に多くなってきていまして、本当に難しい問題だなと思っています。クマ、イノシシ、サル、カモシカ、耕地林務課からたくさん情報が入りますが、特に乗鞍周辺もバスを使わないとなかなか危ないとか、教員住宅のすぐ横まで出てくるというような状況もあります。

橋本委員のおっしゃった感動を与えるプログラムということでは、教文センターのいろいろな講座も特に夏休みは企画を考えていただくとまたいいのかなと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、報告第3号については承認することとします。

<報告第4号> 国宝松本城天守耐震対策専門委員会委員等の委嘱について

松本城管理事務所城郭整備担当課長 報告第4号「国宝松本城天守耐震対策専門委員会委員等の委嘱について」説明

教育長 それでは、ご質問、ご意見等ございましたらお出してください。

橋本委員、どうぞ。

橋本委員 設置要綱に任期2年と書いてありますが、どういう趣旨で任期を2年にしたのですか。2年ぐらいで耐震対策が終わると考えたのですかね。再任して延ばさないといけないということは、耐震対策が遅れているということですか。

松本城管理事務所城郭整備担当課長 現在の進みぐあいを申し上げますと、基本計画策定については、そもそも文化財という中で通常の耐震対策ではなかなか難しく、文化財的な価値を下げることはできませんので、その研究が必要で長期になるということもありますし、それに加えて一番の主な理由が熊本地震のときに石垣が崩れたこともありまして、耐震対策にあたっては石垣も含めて検討しなさいということで国からも指導を受けまして、その関係で長期化しているものでございます。予定では令和3年を目標に計画を策定していくこととしております。

橋本委員 分かりました。

教育長 結論で言いますと、当初は2年ぐらいである程度目途がつくということだったのですが、その後、熊本地震ですとかいろいろな要件で、今後は石垣の部分加わってきたものですから、また再任で延びたということですよ。

松本城管理事務所長 そういうことです。石垣も含めた耐震計画を立てることになりますが、石垣の耐震対策に関わる国の指針が示されていない中で、検討していく必要が生じたものです。

橋本委員 分かりました。

教育長 最終的には石垣に対する国の基準というものが示された中でトータルとして上も含めて耐震対策をするということです。

それでは、報告第4号については承認することとします。

<周知事項1> 第8回学都松本フォーラムの開催について

<周知事項2> UVレジンを使用した科学教室の実施について

<周知事項3> 第1回松本若者会議の開催について

<周知事項4> 松本市南部図書館の臨時休館について

<周知事項5> 松本城三の丸跡大名町第3次発掘調査現地説明会（中間報告）の開催について

<周知事項6> 美術館企画展「日本画の冒険者たち」の開催について

<周知事項7> 松本市立博物館及び分館の企画展等の開催について

教育長 周知事項について補足はありますか。木下館長。

博物館長 今回の博物館の関係ですが、最後の30ページの(3)「博物館まつり」でありますが、きちんと委員の皆さんに伝えをしてごさいませんでしたので、補足させていただきます。私どもの博物館の前身の「明治三十七、八年戦役記念館」が開智学校の中に開館した9月21日を「博物館の日」ということで平成11年に制定させていただき、21回目の「博物館の日」を迎えます。これまで9月21日を分館も含め無料開館し、記念品をお配りするということを20年続けてきたのですが、そろそろ市民の皆さんと一緒に博物館の活動をPRする機会をとということで、新しい博物館もできるので、少し事業の計画をして、新しい博物館での活動準備に備えていきたいということで、「博物館まつり」という名前にさせていただくということでございます。

教育長 市川委員、どうぞ。

市川委員 今回の三の丸発掘調査現地説明会、「博物館まつり」、学都まつもとフォーラムですが、これらは全て9月21日にやるようになっているのですが、3つのものを同じ教育委員会の中で同じ日にやるのだったら、それぞれ実行委員会等があると思いますが、教育委員会としてこの3つをつなぎ合わせて、みんなで盛り上げるように、これから考えていったらいいかなと思います。

教育長 学都フォーラムは今まで1カ所で集中的にやってきましたが、それが本当にいいことかということもありますし、今回、同時多発的に、Mウイングや博物館でやりますが、学都ということで束ねられるようなものがあるといいですが、来年あがたの森に戻るといことですので、その戻り方も今年のことにも参考に。

たまたま9月21日が「博物館の日」ということですね。

博物館長 そうです。私どもはこの日にずっと事業を開催してきて、この「博物館の日」は動かしぶらいというところがあって、学都フォーラムがこの日になったので、学都フォーラムの一つの事業として、今年は「博物館まつり」を開催するという位置づけにしてございます。

市川委員 それがあまり知られていないですよ。一緒にやっているという感じがなくて、職員の中でも全然知らないというような感じです。

教育政策課長 知っている人は知っているけれど、知らない人は知らないというようなこと

ろがあって、申しわけないです。

市川委員 あがたの森にこだわらなくても、新しい博物館ができれば、そこでみんなが一緒にやってもいいわけですよ。今後は国宝になる旧開智学校をメインにしてやるとか、いろいろなアイデアをみんな考えて出したら。

橋本委員 私は5月のクラフトフェアに関連して申しあげましたが、松本市全体として他の市町村に比べてイベントが非常に多い市だと思うのです。そのイベントをどのように年間スケジュールの中にコーディネートするののかというのを戦略的にやらないともったいないということを質問したときに、松本市全体でやっているのは周年記念のときだけで、毎年ベースでは全然組み立てられていませんというお答えでした。先ほど奇しくも市川委員から指摘されたのが、教育委員会レベルでもできていないということで、私は教育委員会レベルに限らず松本市全体のイベントを商工観光部等が必死になってコーディネートをしなさいといけないと個人的には思っています。そこは教育委員会に限らず市長部局も含めて、一度問題提起してみられたらどうですかね。松本市の年間スケジュールをどうコーディネートしていくのか、そして、それを誘客につなげるための戦略的な対応にどう使っていくのかということは、とても重要な話だと思います。

教育長 前にもご意見をいただいています、ばらばら感があるので、松本市は、戦略的に、有機的に動いているのだなということが、外から見ても中から見ても実感できるような取組みというのは、今後の大きな課題になると思いますので、ぜひ、またそんな点も少し市長部局へも投げかけていくということをしていきたいとも思います。福島委員。

福島委員 毎年聞いているのですが、学都フォーラムで教育委員会の事務局に結構負担が集中しているということで、今年に関しては特定の人にいろいろなことが集中しないような取組みというものがあるのかどうかということが、一つ質問です。もう一つは、前回の講演会は、子どもも一緒に何かをやるというような形だったと思うのですが、今回の講演会は、チラシを見ると対象者がどの辺りになっているのかというのが分からないのですが、今すぐこの本は人気があって、小学校でも借りられなくて、何カ月も先になるというようなことを聞いているのですが、子どもが聞いてもいい講演会なのかということが、このチラシだけでは分かりづらいのですが、対象をどのように考えているのかということ

を教えてください。

教育政策課長 最初の、一人に偏った仕事になっているのではないかとこのところですが、確かにその担当している者が準備をやっていますので、負担にはなっています。ただ、当日の動きについては、担当が全部動くのではなくて、Mウイングでしたら、それぞれの階に責任者を決めて、その人に指示さえすれば動けるような態勢を作っていますので、なるべく解消したいと思っています。

それから、二つ目の今泉先生の講演会ですが、おそらく親子で聞けるのではないかなと思っています。

市川委員 親子でということを選んでもらっています。その先生が書いた本を私も孫と一緒に買って読んだのですが、非常に大人気で、話も子どもにも非常にいいと言っていました。

福島委員 それ分かるチラシにしていきたいです。

教育長 またぜひ、そのようにPRもしていただいて。

福島委員 19ページの周知事項2の科学教室の件ですが、人権・男女共生課と共催ということですが、この催しのどの辺りが男女共生課の目的に沿っているのかを教えてください。

生涯学習課長兼中央公民館長 人権男女共生課に前におりましたので、お答えします。理系女子を増やそうという計画がございまして、そういうことからの企画だと思います。

福島委員 そうしますと、対象が女子とは書いていないですが。

生涯学習課長兼中央公民館長 男性でもいいです。

福島委員 アクセサリーだから女性ということですか。

生涯学習課長兼中央公民館長 趣旨が、理系の女子がとにかく少ないといった傾向が全国的にもありまして、増やそうということで、このような計画をして女性の参加があればいいのではないかとこのことで、女性だけには絞っていません。

福島委員 教育政策課と人権・男女共生課でやりますという形で周知しているわけですから、趣旨をもう少し明確にして、例えば、理系の女子を増やすためということがあれば、実際に集まった参加者がどうだったのかという検証等につなげていくべきかと思っておりますので、その辺りはきちんとやっていただきたいと思います。

教育長 それでは、以上で予定されていた案件は終了しました。全体を通して何かありますでしょうか。それでは、事務局からお願いします。

事務局 9月19日は教育委員研究会、26日は定例教育委員会となりますので、よろしく願いいたします。

教育長 以上で、第5回の定例教育委員会を終了いたします。

《閉会宣言》

赤羽教育長は、令和元年度第5回松本市教育委員会を閉じる旨宣言した。

＜午後4時20分閉会＞

会議録調製職員 教育政策課教育政策担当係長 三村 恵美

会 議 録 署 名 委 員

山田 幸江

橋本 要人
